

様式第 6 号（第 14 条関係）

会 議 録

会 議 名	平成 30 年度 第 1 回 粕屋町男女共同参画審議会	
開 催 日 時	平成 30 年 8 月 30 日（木） 午後 2 時から午後 3 時 45 分まで	
開 催 場 所	役場 2 階 防災会議室	
出席者 氏名	委 員 (敬称略)	武藤桐子、阪井俊文、阿部美也子、井上美千代、後藤香代子、 伴世津子、古家昌和、鶴岡史也、桜井末治、吉次亜紀子
	職員・職氏名	副町長 吉武信一、協働のまちづくり課長 中小原浩臣、 介護福祉課 石川弘一、協働のまちづくり課 野田、平松
欠席委員（者）氏名		
会議の公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 全部非公開	
会議を公開しない 理由		
傍聴人の数	0 人	
会議資料の名称	資料 1 施策の体系表（H29 評価分） 資料 2 施策の評価表（H29 評価分） 粕屋町特定事業主行動計画に基づく公表 女性の職業選択に資する情報の公表	

審議会等の内容
<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱書の交付</p> <p>3. 町長職務代理者あいさつ</p> <p>4. 自己紹介、会長及び副会長の選出 (会長) 武藤委員、(副会長) 阪井委員</p> <p>5. 粕屋町男女共同参画計画の概要について</p> <p>6. 施策の実施状況（平成 29 年度事業分）について</p> <p>〔審議会からの主な意見〕</p> <p>〔基本目標 I〕 男女共同参画社会実現のための意識づくり</p> <p>○男女共同参画社会に向けた意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災講座は住民の方の関心が高く、出席者も多い。男女共同参画の視点での避難所運営などの話を「男女共同参画」というフレーズを入れて啓発してはどうか。 ・行政区の役員は世帯主がする流れがあり、男性が多い。夫が組長、妻が補佐ではなくどちらでも出来るほうがよいと考える。 <p>○男女共同参画社会を実現する教育活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A 評価が 4 つあるが、全て学校教育の事業である。学習指導要領どおりに実施して評価をされているようだが、具体的にどのようなことをやっているのか見えない。 ・今年は小中学校で PTA 会長に女性が半数なられており、以前と変わってきている。講演会や学級懇談会なども新しいものが盛り込まれてくるかもしれない。そのよう

な方が、今後、地域においても活躍されてくると思う。

[基本目標Ⅱ] 男女が共に能力を発揮し、支え合う社会づくり

○雇用分野等における男女の均等な機会と待遇の確保

- ・事業所での啓発が進んでいない。大きな企業は社内でコンプライアンスの啓発冊子等があるようだが、小さな事業所もあるので啓発チラシや冊子などを配布することが必要である。また企業のトップや社員に内容を理解してもらうことが大切である。
- ・女性の再就労に対する支援で、県主催の講座は会場が福岡、北九州、筑後、筑豊などで子育て中の人には子どもを連れて参加しづらい。粕屋町は子育て世代が多く、M字カーブ（女性の年齢階級別労働率）は大きく、今後、県の元氣塾「女性による元氣な地域づくり応援講座事業」を利用するなどして検討してみたい。

○ワーク・ライフ・バランスの推進

- ・子育て応援団（父親の育児参加チーム）が親子木工教室を年2回開催した。参加される方は意識が高いため、一緒に活動していただけるメンバーとしてお声かけする場合もある。子育てが落ち着いた方でこのような活動に関わりたいという方も多い。活動しているメンバーの年齢も高くなっているため、後継者や今後の担い手を育てていくことが必要である。

[基本目標Ⅲ] 男女の人権が尊重され、ともに健康で、安心して暮らせる環境づくり

○性に関するあらゆる暴力の根絶

- ・県事業で中学校・高校向けのデートDV講師派遣があるので、検討されてはどうか。
- ・DV防止にむけた啓発は身近でわかりやすいものにしたほうが伝わりやすいと思う。

[今後の進め方について]

- ・全体的にC、D評価が多いが全てを同時に進めるのは難しいと思うので、今年度はいくつかの事業を絞って重点的に取り組んだほうが良いと考える。

審議会からの意見を付して、評価の報告書をまとめ、担当部署にフィードバックする。

7. その他

来年度は計画の中間年となるため、計画の見直しを検討している。
次回審議会は平成30年2月を予定している。

8. 閉会